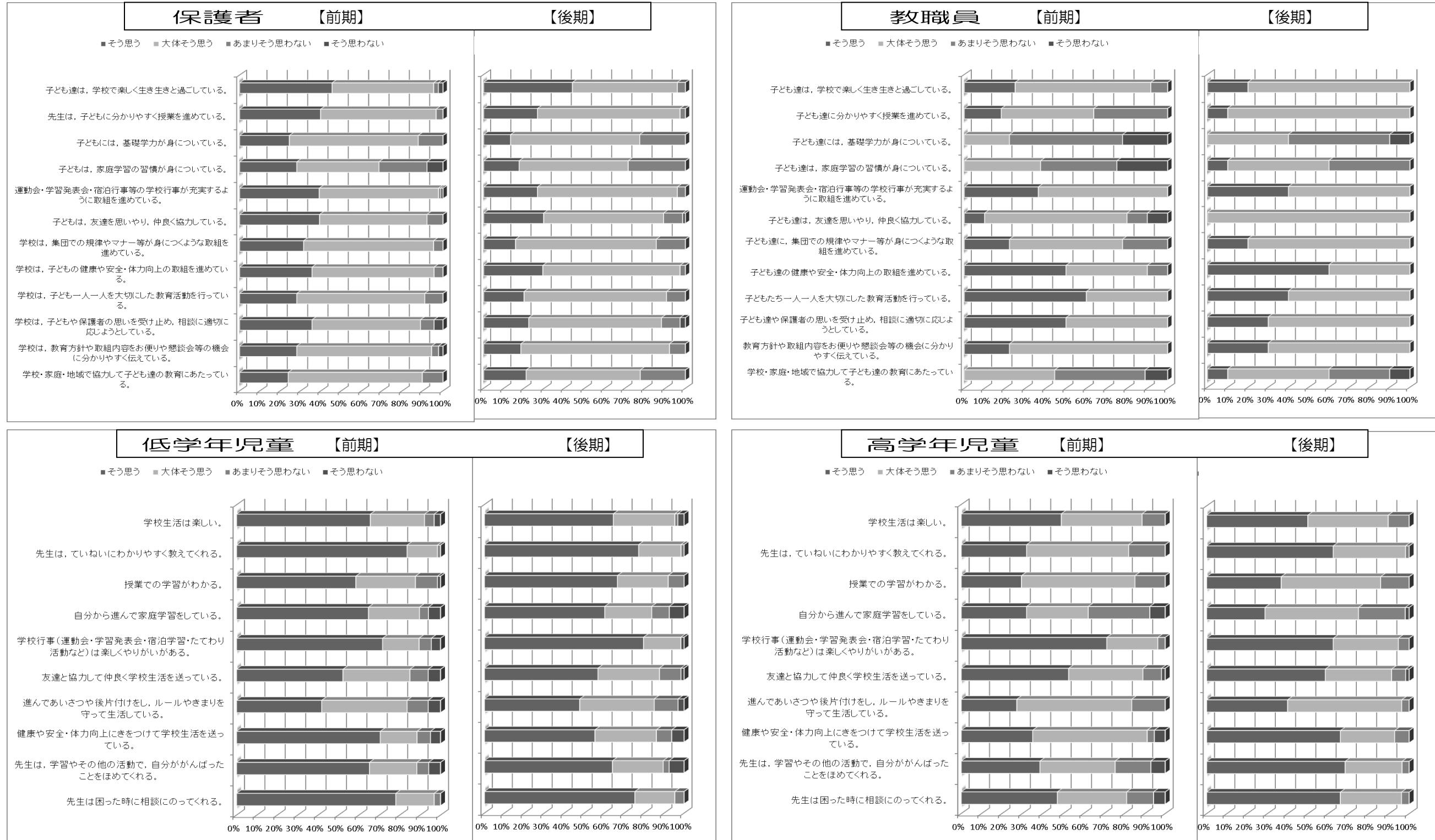


本年度後期の本校教育活動を振り返り、次年度の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成29年度後期学校評価アンケート」の集計が終了いたしました。考察を加えてお知らせいたします。

## 後期の回答の様子を前期と比較してグラフでご覧ください。



# 考察(行事等の様子も少し添えて)

## ～家庭学習について～

前期は低学年と比べて高学年は少し課題があると感じているようでしたが、後期は高学年の回答にも改善が見られます。そのことは保護者・教職員の同じ質問項目の回答からも実感としてとらえることができます。



## ～わかりやすい授業について～

低学年は前期と同様にわかりやすい授業であると感じているようです。また、高学年でも「思わない」群が減り、わかりやすい授業へ改善していることを児童も感じていると見取ることができます。手前味噌ですが、教職員の回答にも手応えを感じていることがわかります。

全ての児童、保護者が「そう思う」群になるように指導の改善に努めます。



## ～あいさつや規範意識について～

前期に比べて児童の回答は、低学年ではほぼ同じ、高学年では向上しています。また、教職員の回答結果を見ても、児童の様子の改善を実感していると読み取れます。

しかし、保護者の回答を見ると、前期よりもよくななく、子どもたちの様子に満足されていないと読み取れます。具体的な課題を把握し、来年度の対策を考えます。



## 地域（学校運営協議会）の方々より

- 子どもや孫が石田小学校に通っていないので、日常の様子はわかりませんが、運動会や学習発表会等の学校行事を見る限り、まとまりのある雰囲気を感じます。
- 子どもの数が減っている中で、これまでのような取組を続けていくのが難しくなるのではないかと心配です。



お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回のアンケート用紙は印刷が薄く、回答するときにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

次年度は3学期制の導入や、新しい学習指導要領の先行実施（道徳の教科化や低学年からの外国語活動等）により、学校を取り巻く状況が大きく変化します。

そのような中、これまで同様に子どもを真ん中にすえた石田小学校の教育活動を、保護者や地域の皆様と連携しながら、教職員一丸となって進めてまいります。今度ともよろしくお願ひいたします。